

0362

首題ノ件参考資料トシテ一部送付ス

陸軍省 印中

第十二軍通信隊長

昭和十五年四月七日

魯東作戰ニ於ケル軍通信隊ノ行動概要送付ノ件

十二軍通通第一號

陸軍省 陸文密交第二三三三號



軍事秘

「魯東作戰」ニ於ケル

軍通信隊ノ行動概要

昭和十五年四月七日
第十一軍通信隊



提出及配布區分表

提出先		部数	配布先	部数
大本營陸軍部	運輸通信長官	一	陸軍省	一
野戰高等電信長	支那派遣軍總司令官	二	陸軍技術本部	一
北支那方面軍司令官	支那派遣軍總司令官	一	教育總監部	一
第十二軍司令官	北支那方面軍司令官	二	工兵監部	一
	第十二軍司令官	二	陸軍通信學校	一
			電信第一聯隊	一
			電信第二聯隊	一
			電信第三聯隊	一
			電信第四聯隊	一
			電信第五聯隊	一
			隸下各中隊	各一

緒言

曩ニ實施セラレタル冬作戦ニ於テ隸下諸隊ハ
 嚴寒積雪ノ下ニ山岳僻陬ノ地ニ行動シ連日連夜
 克ク其ノ任務ヲ完シ通信隊トシテノ能力ヲ遺
 憾ナク發揮セリ
 此處ニ作戦間ニ於ケル軍通信隊ノ行動概要ヲ抄
 録シ以テ將來ノ参考資料トラシメントス
 昭和十五年四月七日

第十二軍通信隊長

渡邊

猛

第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	附圖	第六	第五	第四	第三	第二	第一
無線通信網圖（一月二十八日十二時現在）	蝦蟇屯站附近ニ於ケル戰鬥經過概要	吹雪ニ因ル青島市内被害要圖	吹雪ニ因ル膠濟沿線被害要圖	於青島附近ノ地電話通信網圖	青島ニ於ケル外部無線通信網圖	敵匪分布狀況要圖	附圖	希望及經驗ニ基ク参考事項	無線關係事項	有線關係事項	通信實施ノ狀況	軍通信隊ノ行動概要	一般狀況
								九	五	九	七	三	一
								〃	〃	〃	〃	〃	頁

第八	無線通信網圖	二月二十八日以降
第九	無線通信網圖	三月一日現在
第一〇	各無線線系構成狀況	(各部隊集結時行動發起前於ケル)
第一	作戰前期	於ケル無線通信網概要
第二	戰鬥經過要圖	
第三	作戰前期	於ケル無線各隊ノ行動概要
第四	作戰後期	於ケル無線通信網概要
第五	作戰經過要圖	
第六	作戰後期	於ケル無線各隊ノ行動概要(其二)
第七		(其三)
第八	無線通信網圖	三月十六日夜以降
第九	無線通信網圖	三月二十四日八時現在
第一〇		三月二十四日八時以降
第一		三月二十六日十二時以降
第二	獨混第五旅團	青島帰還(二件) 無線通信網圖(三月二十七日)以降
第三	附表	第一作戰間各隊電報取扱通字數表

第一 一般狀況

一、趙寶源、鄭維屏、蔡晉康、高錦統等大小ノ匪團ハ我
進駐ラ免レテ猶東部魯東地區ニ散在蟠踞ス
其ノ一月下旬ニ於ケル敵匪分布ノ狀況別紙附

圖第一ノ如シ

二、軍ハ東部魯東地區ノ全面的討伐ヲ行ヒ之ヲ肅

正スルト共ニ資源開発ヲ準備シ海上封鎖作戰

ト相俟ツテ匪團ノ補給ヲ遮断シ以テ山東全域

肅正ノ完成ヲ期ス

第一飛行團ノ一部及第三遣支艦隊ハ右「」號作

戰ニ協カス

三、各部隊ハ二月五日迄ニ龍口一招遠一日庄一靈

山一鋪居店子ノ線ニ進發ヲ準備シ七日行動ヲ

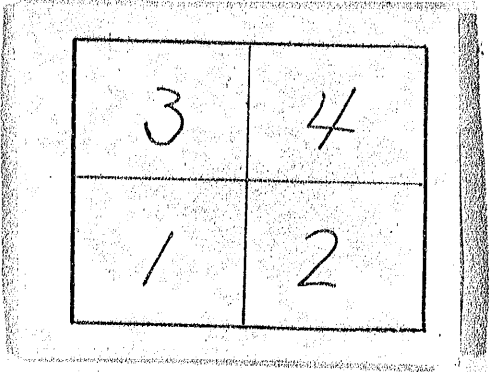

開始シ地域毎ノ掃蕩ヲ完了シツ、極力敵ヲ捕

開始シ地域毎ノ掃蕩ヲ完了シツ、極力敵ヲ捕

之

捉スルト共ニ之ヲ山東半島東端地帯ニ掃攘圧
 縮スルニ努メ逃避潛伏匪團ヲ索出剿滅ス
 佐野支隊ハ作戰前期ニ於テ嶗山湾沿岸地帯茲
 嶗山内ノ掃匪ニ努メ爾後石嶋ニ上陸ヲ敢行極
 力敵匪ヲ西方ニ席捲圧迫スルニ努メタリ
 軍ハ戰斗司令所ヲ二月五日青島ニ推進シ作戰
 終了ニ伴ヒ二月十四日濟南ニ歸還セリ

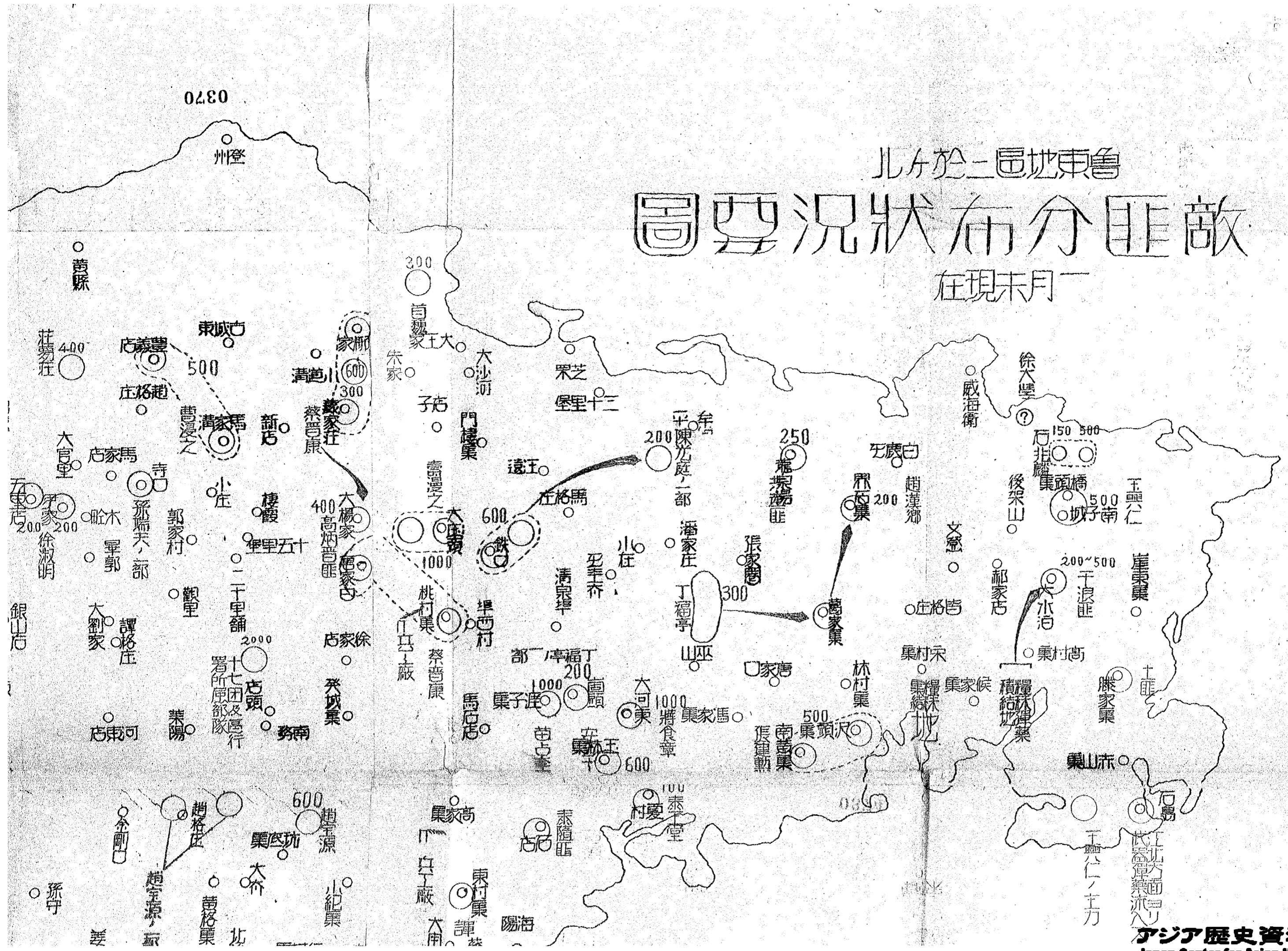
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 3 月 14 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>	

北平於二區地東魯

圖要況狀布分匪敵

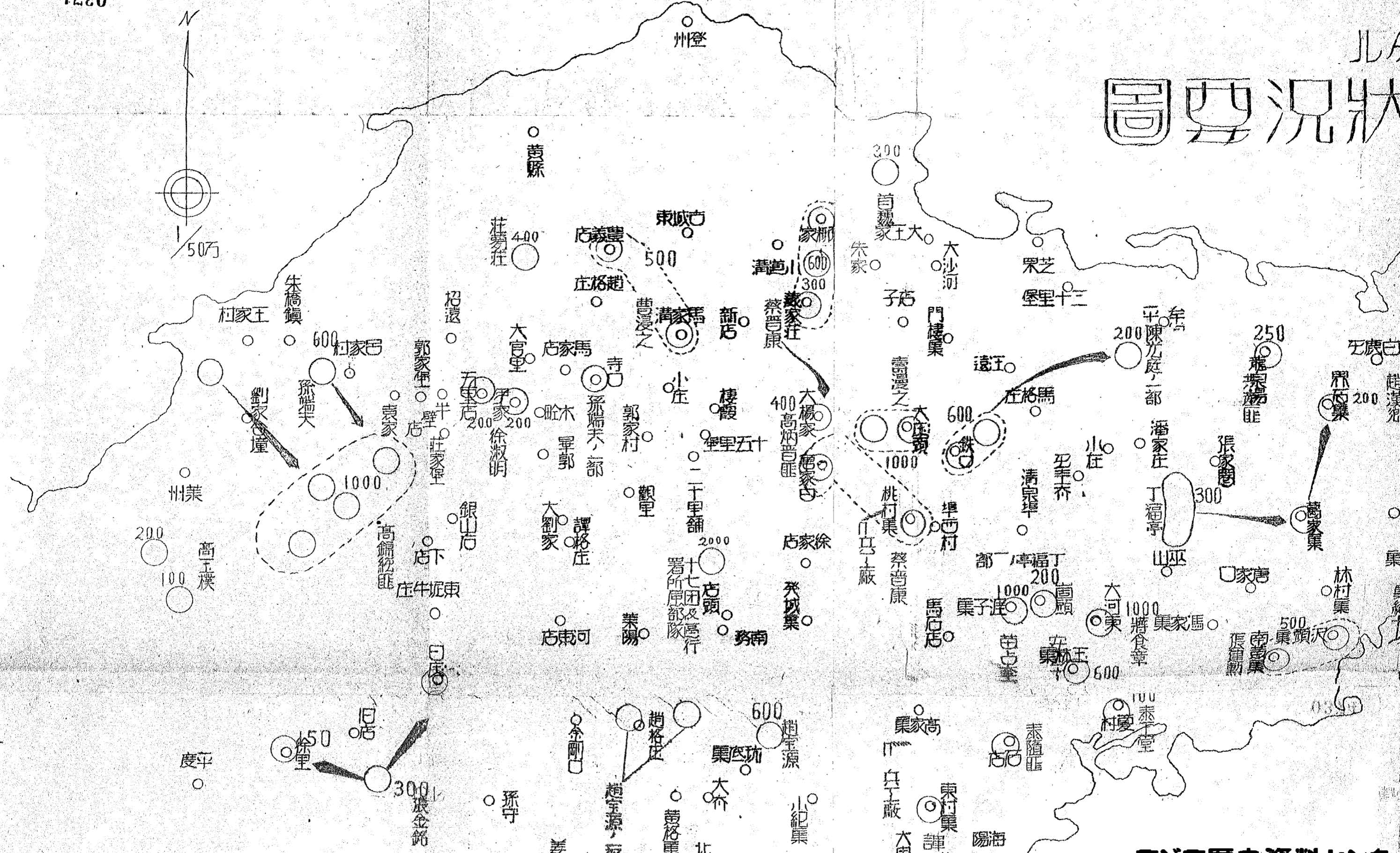
在現末月一

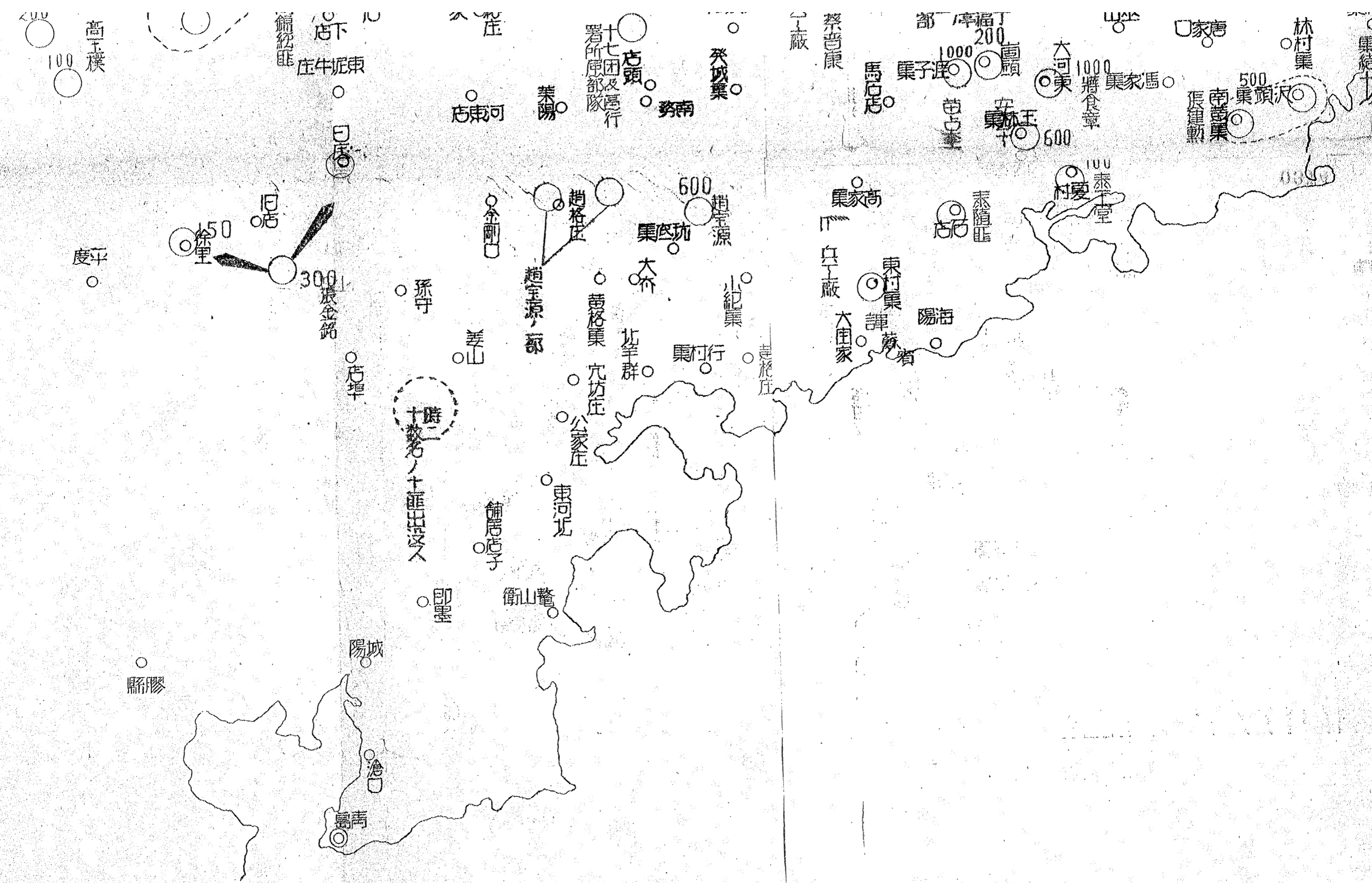


1280

0280

北方 圖勢況狀





0373

0372

0374

附圖第一



第二 軍通信隊ノ行動概要

一 第十二通信隊ハ依然前任務ヲ續行スルト共ニ

二月二日 戦闘司令所ヲ青島ニ推進シ前項イ號

作戦間ノ通信連絡ニ任ジ終始概ネ良好ナル通

信ヲ實施シ作戰遂行ニ遺憾ナカラシメタリ

二 有線ニ就テハ特ニ我が討滅ヲ免レ包圍圈内ヨ

有線各中隊ハ特ニ我が討滅ヲ免レ包圍圈内ヨ

リ逸出スル敵ニ之ニ策應スル敵ニ對シ警戒

ヲ嚴シシ擔任通信線ノ確保ニ任ジ本作戦間敵

性障害皆無ニシテ電線路ハ極メテ安定シ且通

信狀況亦良好ニシテ作戰行動發起前ニ於ケル

重要通信ノ疏通ニ遺憾ナカラシメタリ

然ルニ二月十二日夕ヨリ襲来セル寒波ハ膠濟

沿線一帯ニ多量ノ降雪ヲ伴ヒ夜半ヨリ風速激

3.

ム

三

増シ為ニ電線路ハ別示ノ如キ大破壊ヲ蒙リ青
島一濟南間ノ有線通信ハ一時杜絶ノ止ムナキ

無線ニ就テハ全面的山嶽地帯ナルト比較的

本作戦地域ハ全面的ニ山嶽地帯ナルト比較的

小部隊ニ依ル行動迅速ナル地域毎ノ討伐チル

トニ據リ直接作戰通信ハ無線ノミニ依リタル

モ各無線分隊ハ克服ノ雑音等ヲ克服シ作戦

ノ全期ニ直リ何レモ良好ナル通信ヲ実施シ得

タリ漸次敵ノ存在地域ノ局限セララル、ニ從ヒ

特ニ漸次敵ノ存在地域ノ局限セララル、ニ從ヒ

我が追躡ノ急ナルト通信距離ノ増大セルトニ

モ関ラズ益々良好ナル成果ヲ發揮スルヲ得タ

リ各無線分隊ノ編成表別紙附表第一ノ如シ

因ミニ青島附近ヲ基トスル部外無線通信網

ノ一部別紙附圖第二ノ如シ

四. 作戰開始前無線各隊ヨリ三號機分隊ヲ編成潛

南ニ招致シ九四式三號無線機取扱教育ヲ実施

シ又輜重隊ヲレテ馱馬教育ヲ実施セシム

又作戰ノ終了ト共ニ次期作戰ニ於ケル参考資

料タラシムベク引續キ九四式三號機ニ依ル通

信演習ヲ実施ス細部別冊ノ如シ

五. 城陽並糴縣ニ於ケル彈藥糧秣被服ノ集積場直

接警備ノ為メ輜重隊ノ一部ヲ夫々該地守備隊

長ノ指揮下ニ入ラシム

六. 作戰全期ニ亘ル有無線各隊ノ行動ニ関シテハ

更ニ項ヲ改メ詳記ス

8280

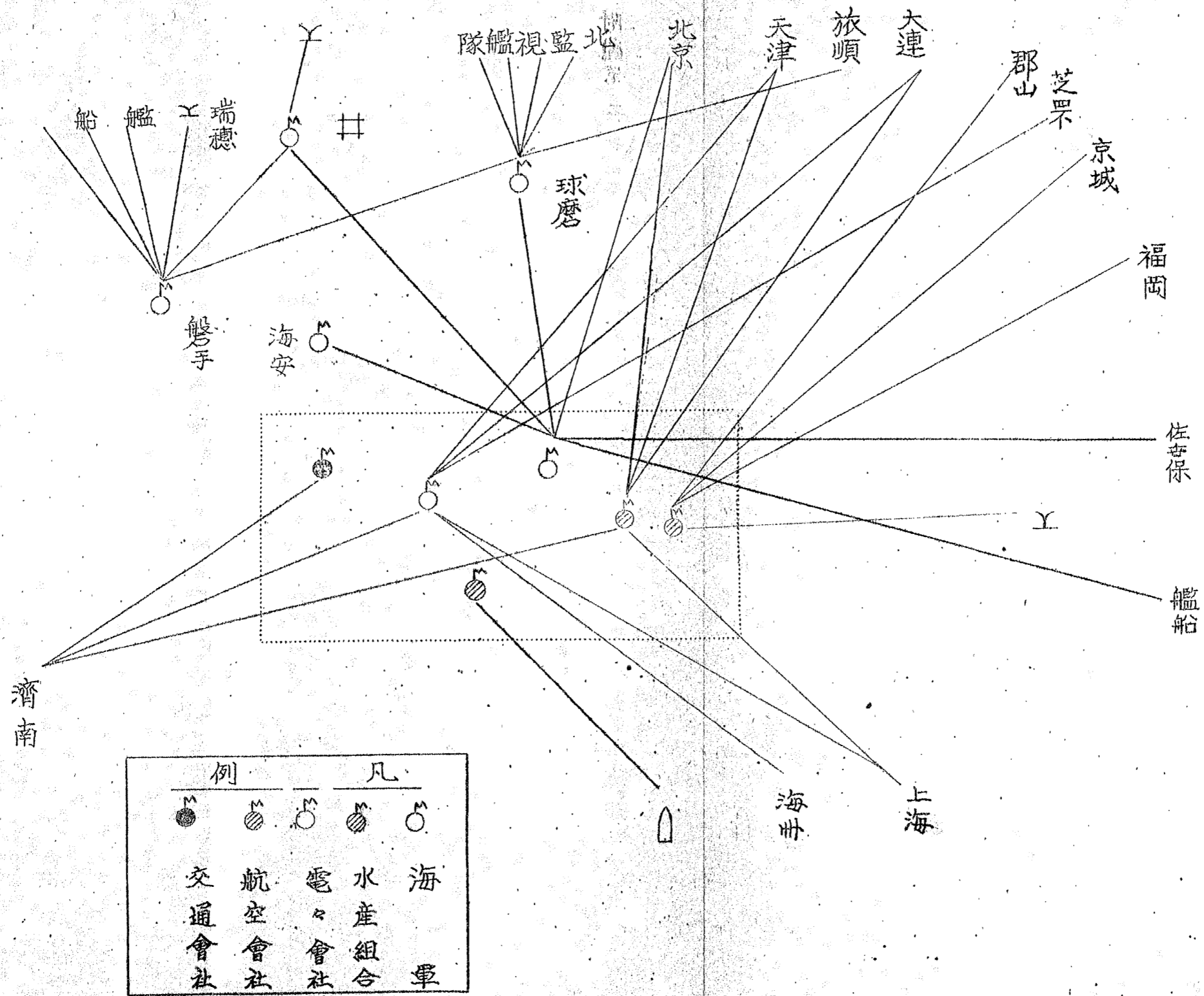
六
二
月
二
十
五
日
青
島
軍
通
信
隊
戰
鬪
司
令
所
ヲ
撤
去
シ
濟
南
ニ
歸
還
セ
リ

附表第一

教員	分	區	九四式三聯無線電隊編成表
一	宣士下 擲信通	長分隊	
二	兵信通	工	
四	掛電設	兵	
六	計	輪	
一	兵重輜 長班	重	
六	兵重輜	兵	
二	兵備予同	總計	
九	計	買	
一	馬乘長班	馬	
六	(含予一備預)馬 駄	匹	
七	計	駄馬積載区分	
二	杵器		
二	(分日五)糧馬糧人		
一	布毛品 耗消		

0880

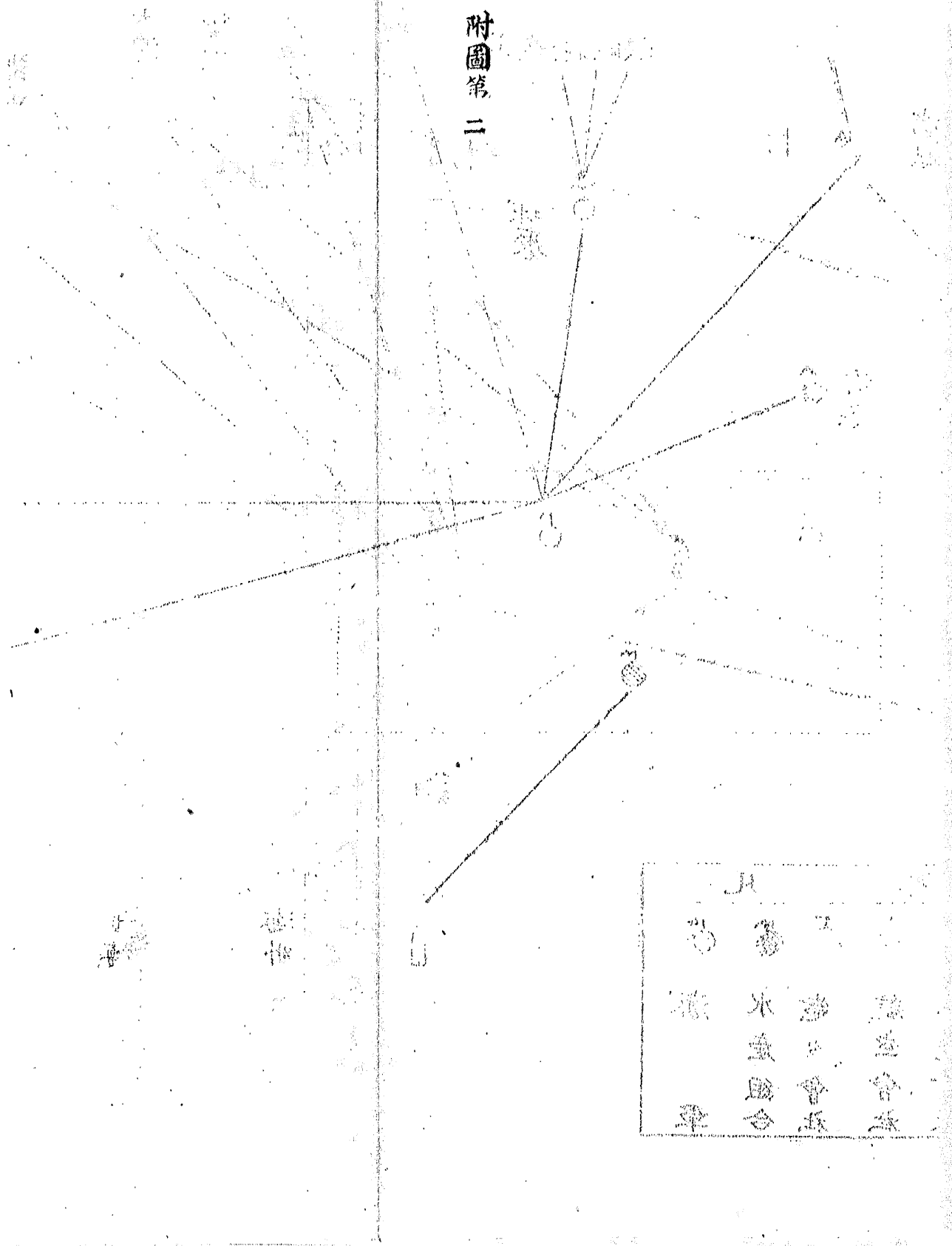
0381



青島ニ於ケル部外無線通信網圖
 (新聞社第三國系モノヲ除ク)

0381

附圖第二



東洋	南洋	北洋	西洋
朝鮮	支那	印度	歐洲
日本	琉球	菲律賓	美國
英國	法國	德國	美國

合計	離局地	距離		外埠		市内	通話區分
		坊子方面	天津北京方面	濟南方面	徐州方面		
九二一一	五三五五	六五五	一七〇九	二四一六	一四	五四〇二	作戰間(三月)
七一九三	三九九四	八〇〇	九九九	一九五九	一五	三九一四	一月
(+)二〇一九	(+)一四一	(-)一四五	(+)(+)七一〇	(+)四五七	(-)一	(+)一三八八	増減

第三 通信実施ノ狀況

一、通信実施ノ細部ニ関シテハ有無線毎ニ後述ス

二、作戰間各隊ノ取扱ヒタル電報通字數表附表第一ノ如シ

三、青島ニ於ケル電話交換概數茲前月トノ比較左ノ如シ

0383

8. 四. 軍戦闘司令所發着電報通数
尤ノ如シ

發信	五 四 四 通
着信	一 五 三 三 通

作戦間各隊電報取扱通字数表

出先無線各隊

隊別	北原			古沢			西田中			細川			山本		
	計	中継	着信	計	中継	着信	計	中継	着信	計	中継	着信	計	中継	着信
通数	183	2	89	274	2	255	658	1	39	65	1	83	730	148	639
字数	25,629	306	14,732	40,667	306	47,453	11,727	1	6,852	11,052	1	14,516	14,450	34,432	14,450

基地無線各隊

隊別	挑井			丸山			重廣			行田			村上		
	計	中継	着信	計	中継	着信	計	中継	着信	計	中継	着信	計	中継	着信
通数	448	544	581	129	283	324	281	635	541	250	125	250	272	217	238
字数	7,426	9,483	9,510	2,364	5,160	11,932	6,845	13,357	10,943	4,769	2,323	4,769	4,117	3,493	4,117

有線隊

隊別	有線隊		
	計	中継	着信
通数	733	617	638
字数	11,317	3,493	3,571

總計			通数	字数
計	中継	着信		
1596	483	528	5445	91346
2777	131	138	306	88996
2777	131	138	306	88996

0385

附表第二

一.

第四 有線 關係 事項

局 地 電 話 網 絡 構 成 戰 闘 可 令 所 青 島 進 出 前 最

軍 企 圖 秘 匿 上 軍 戰 闘 可 令 所 青 島 進 出 前 最

少 限 時 機 野 電 第 四 十 一 中 隊 別 紙 附

圖 第 三 如 夕 構 成 セ シ ム 裸 線 新 設 四 條 依 リ

青 島 滄 口 飛 行 場 間 依 リ 徹 宵 架 設 作 業 ヲ 実

架 設 シ 其 他 ハ 被 覆 線 依 リ 徹 宵 架 設 作 業 ヲ 実

施 セ リ 其 他 ハ 被 覆 線 依 リ 徹 宵 架 設 作 業 ヲ 実

有 線 通 信 実 施 ノ 状 況 依 リ 徹 宵 架 設 作 業 ヲ 実

(1) 作 戦 ノ 初 期 警 戒 中 隊 ノ 適 切 ナ ル

補 修 ト 至 嚴 ナ ル 警 戒 中 隊 ノ 適 切 ナ ル

電 線 路 ハ 極 メ テ 安 定 シ 敵 性 茲 自 然 發 生 因

ル 障 害 皆 無 テ 良 好 ナ ル 通 信 ヲ 実 施 シ ア リ

シ ガ 二 月 十 二 日 夕 ヨ リ 吹 雪 依 リ 電 線 路

シ ガ 二 月 十 二 日 夕 ヨ リ 吹 雪 依 リ 電 線 路

シ ガ 二 月 十 二 日 夕 ヨ リ 吹 雪 依 リ 電 線 路

シ ガ 二 月 十 二 日 夕 ヨ リ 吹 雪 依 リ 電 線 路

シ ガ 二 月 十 二 日 夕 ヨ リ 吹 雪 依 リ 電 線 路

シ ガ 二 月 十 二 日 夕 ヨ リ 吹 雪 依 リ 電 線 路

野電第四十一中队隊擔任區域ニ於テ倒壞電柱
 一三八本半倒壞電柱一四ニ本ニ亘ル大破壊
 ラ蒙リ後方通信ハ無線ニ依ルノ止ムナキニ
 至リタリ於テモ被害甚ク飛行場線並操
 又市内ニ於テモ被_レ害甚ク飛行場線並操
 縦線モ数箇所ニ於テ切斷セラレタリ
 依ツテ直チニ幹線電線路補修用材料ノ集積
 ラ處置スルト共ニ取敢ズ無線操縦線ヲ彼此
 相融通シ作戰通信ニ支障ナカラシメツ、一
 時大被覆線ヲ急設_{爾後}シガ復旧ニ努ム
 幹線電線路ハ先ヅ搬送電線並ニ電信線ノ
 復旧作業ニ全カヲ集中セシメ十五日ニ二時
 搬送電線ヲ十六日十一時局地電信線ヲ十
 七日一時三十分直通電信線ヲ夫々復旧シ

爾後補修ヲ續行シ逐次線路ノ強化ヲ圖リタ

障害並復旧狀況別紙附圖第四第五ノ如シ
電諾通信ノ完璧ヲ期スル爲主要電諾機ヲ日

三 作戦後期ニ於テ我包圍圈ヲ巧ニ脱シタル小匪

團ハ逐次鐵道沿線各地ニ潛入交通網ノ破壊ヲ

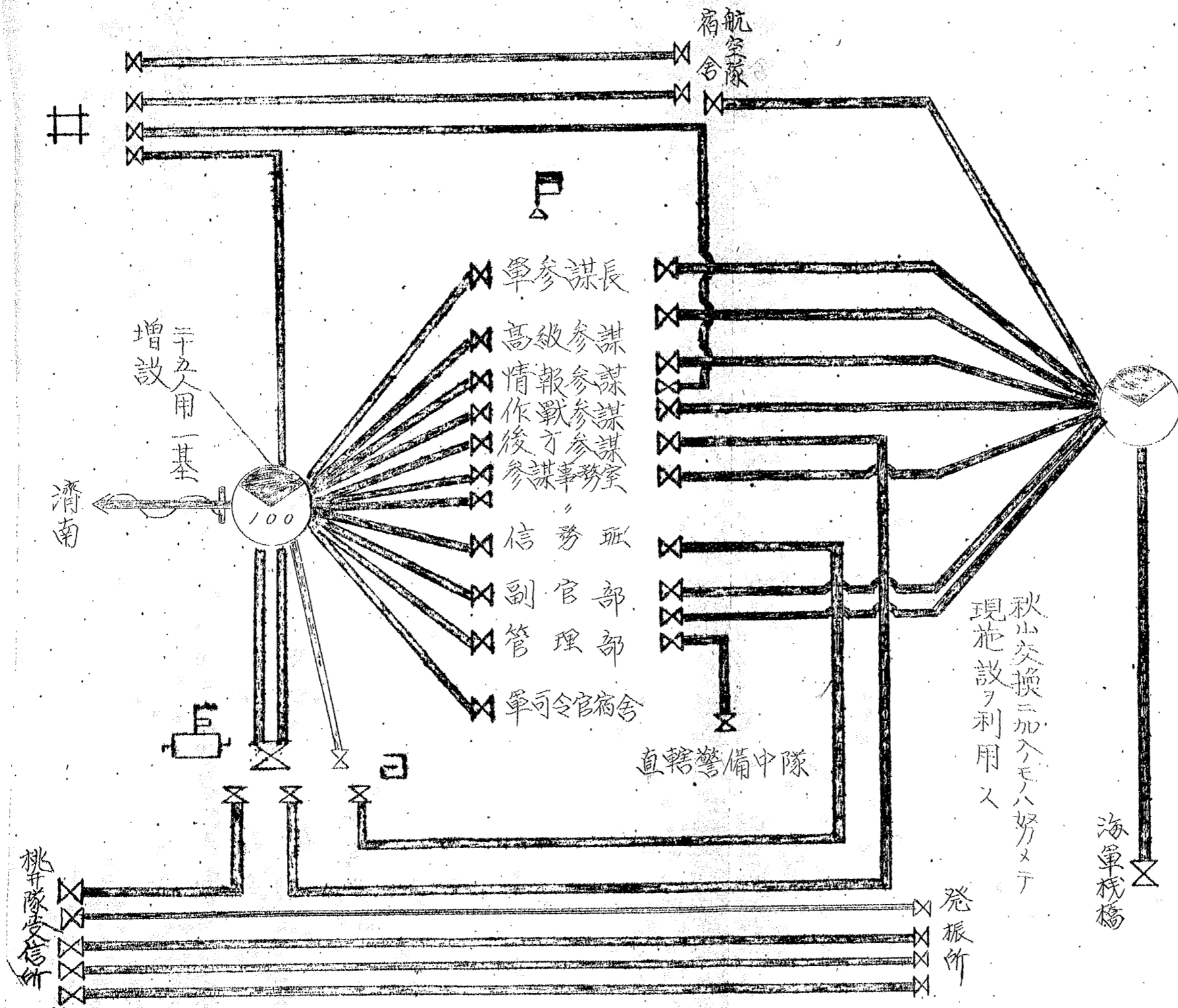
企圖シツ、アリテ其事例別紙附圖第六戦斗概

要ノ如シ有線各中隊ハ益々警戒ヲ嚴シ之か

企圖ヲ未然ニ破砕シツツアリ

6880

0330



於青島附近
局地電話通信網圖
(青書八新設ノモ示ス)

秋山交換

秋山交換ニ加テモハ努メテ
現施設ヲ利用ス

海軍棧橋

旅振所

直轄警備中隊

桃井隊電信所

濟南

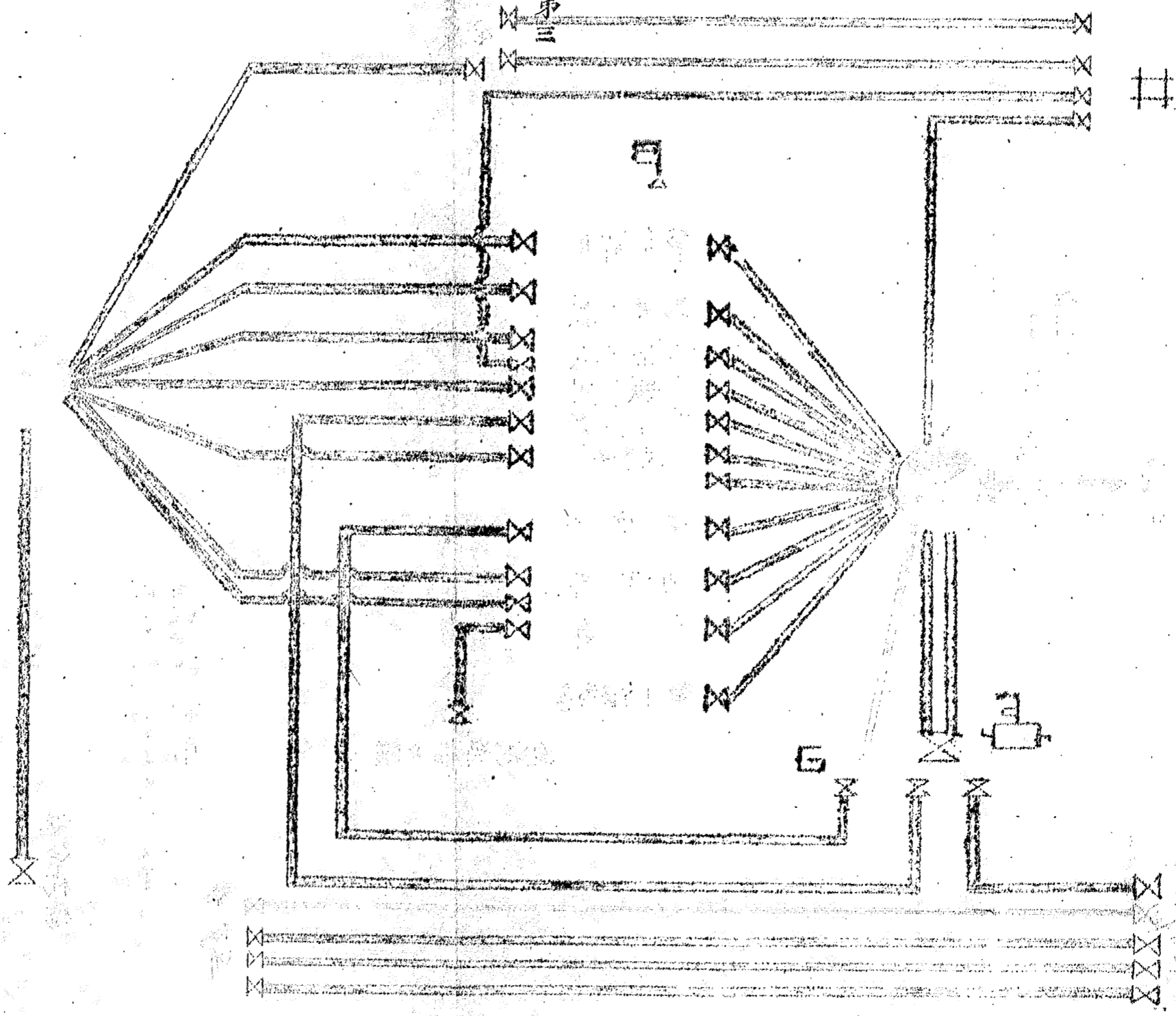
増設 予及用一基

0390

0380

附圖第三

(海軍工廠)



海軍工廠

井

0391

0305

二月二十日夕リ

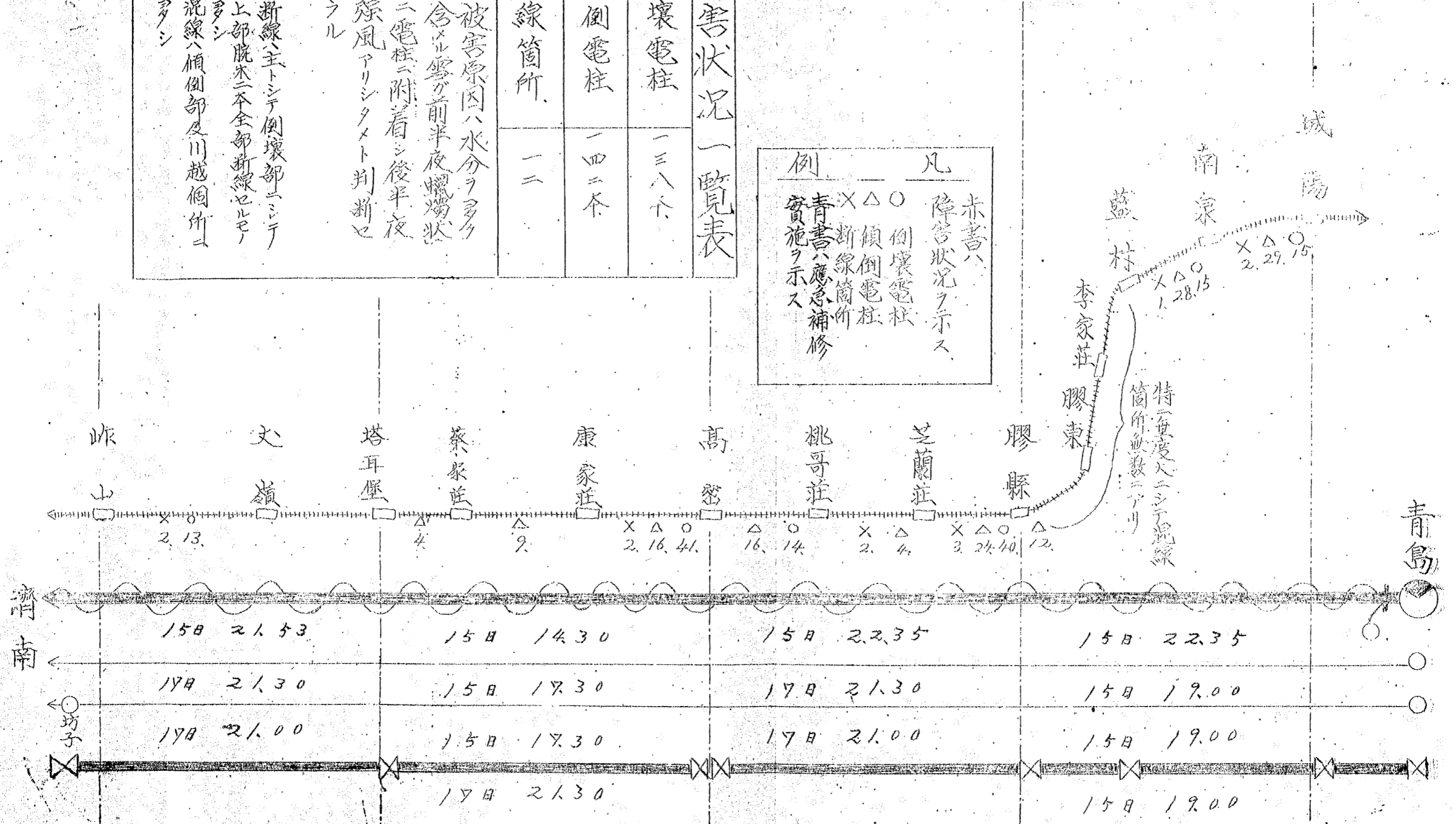
吹雪二因膠濟沿線被害要圖

考	備	断線箇所	傾倒電柱	倒壊電柱	被害状況一覽表
一、断線、主トシテ倒壊部ニシテ上部脱木ニ本全部断線セルモノ多シ	被害原因ハ水分ヲ多ク含ム雪分前半夜蠟燭状ニ電柱ニ附着シ後半夜強風アリシトメト判断セラル	一、二	一、四、二、本	一、三、八、本	
二、混線ハ傾倒部及川越箇所ニ多シ					

凡 例

○ 倒壊電柱
△ 傾倒電柱
× 断線箇所
青書ハ應急補修實施ヲ示ス

赤書ハ降雪状況ヲ示ス



0392

一 附 註 記 号 等 下

大 陸 一 区 界 限 示 意 図

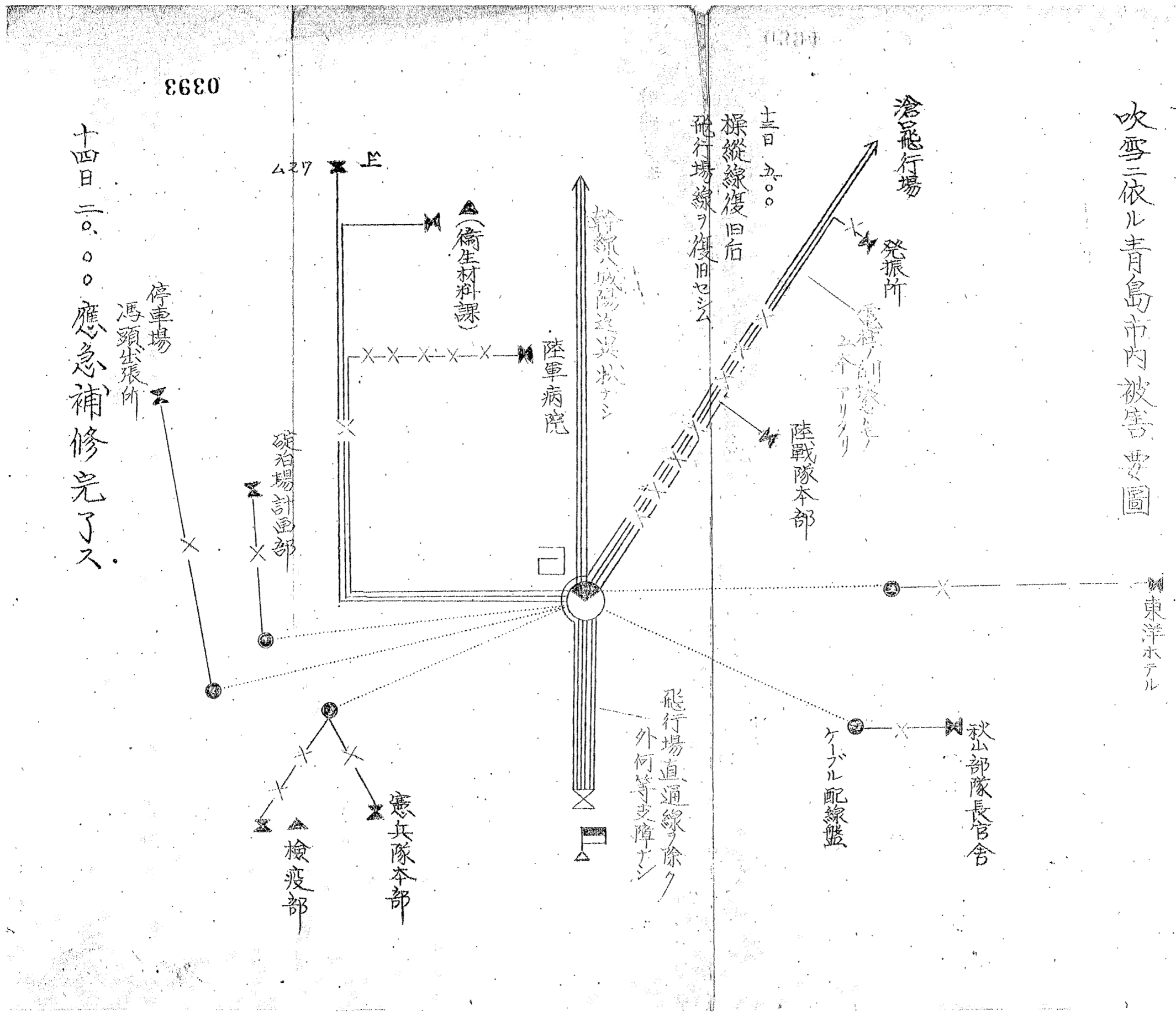
附 圖 第 四

0385

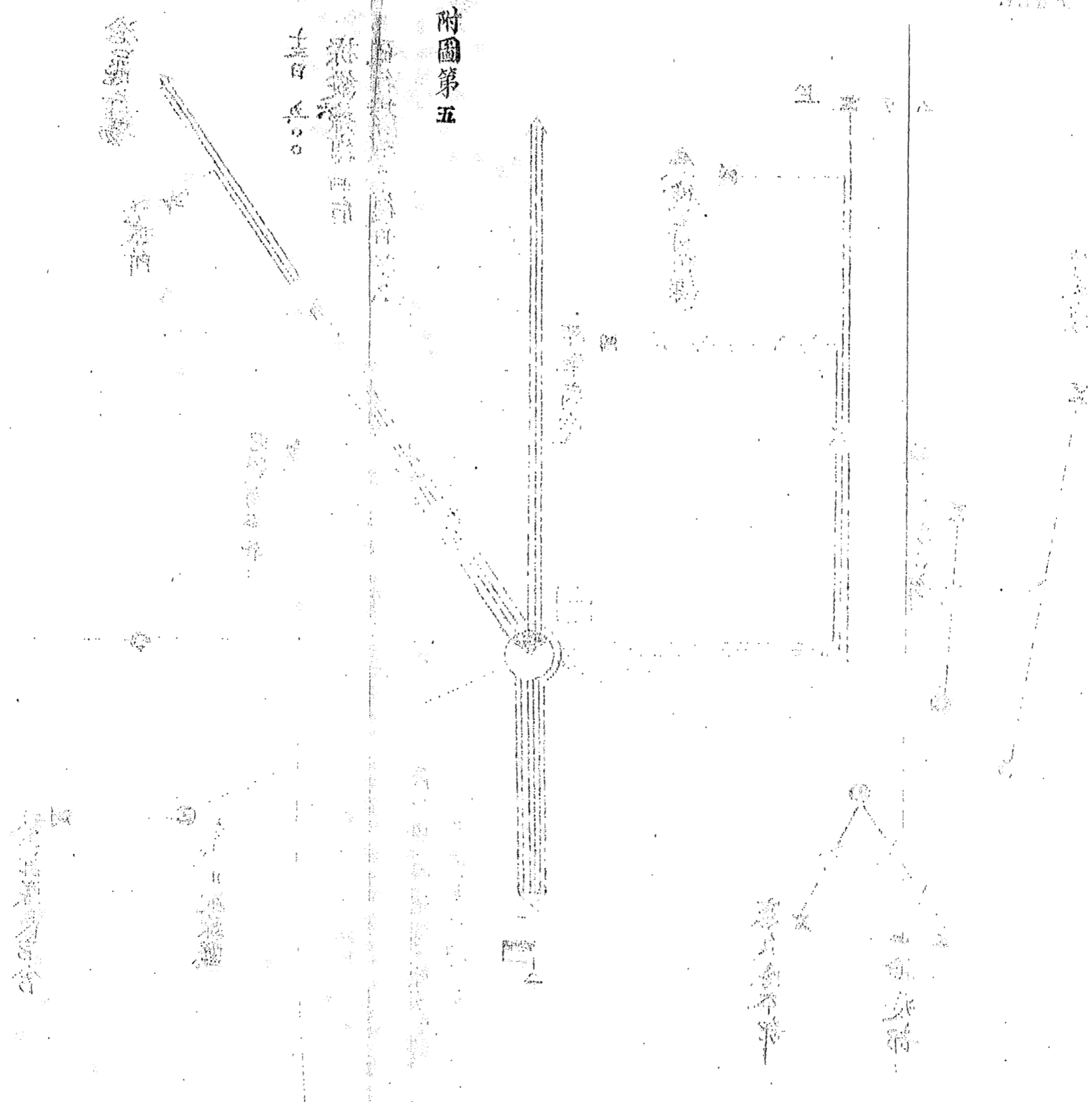
青 島

○	青 島	○	濟 南	○	煙 台	○	龍 口
○	濰 縣	○	周 村	○	博 山	○	臨 沂
○	濰 縣	○	周 村	○	博 山	○	臨 沂
○	濰 縣	○	周 村	○	博 山	○	臨 沂
○	濰 縣	○	周 村	○	博 山	○	臨 沂

二月十二日夕／＼コリノ
吹雪ニ依ル青島市内被害要圖



十四日 10.00 懸空橋架新設



附圖第五

0394

大正十一年四月十四日

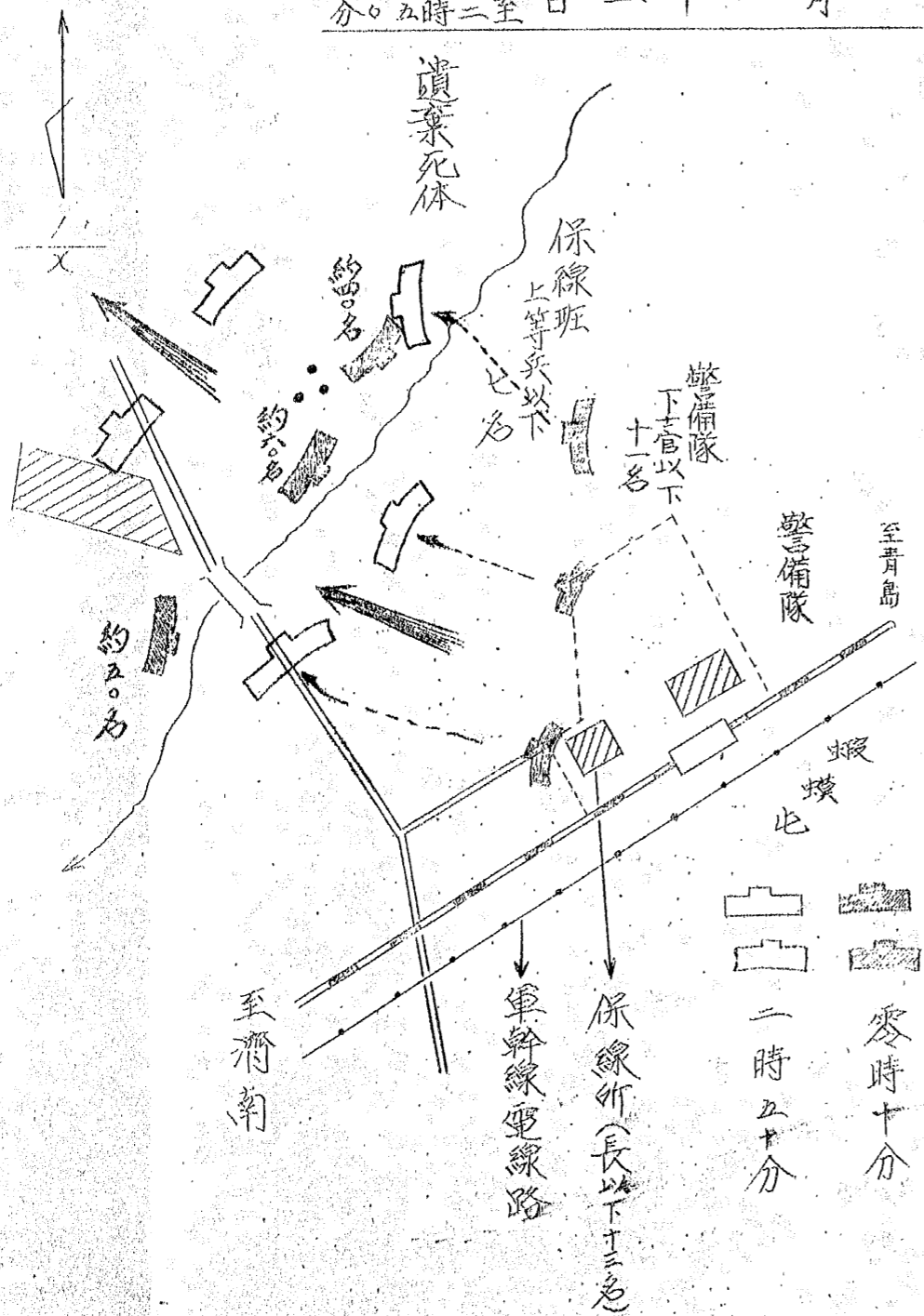
東京府立第一高等女子学校

5680

0380

蝦蟻屯站附近ニ於ケル戰鬥經過概要

昭和十五年二月二十二日 自零時一分至二時五分



一 戰鬥經過ノ概要

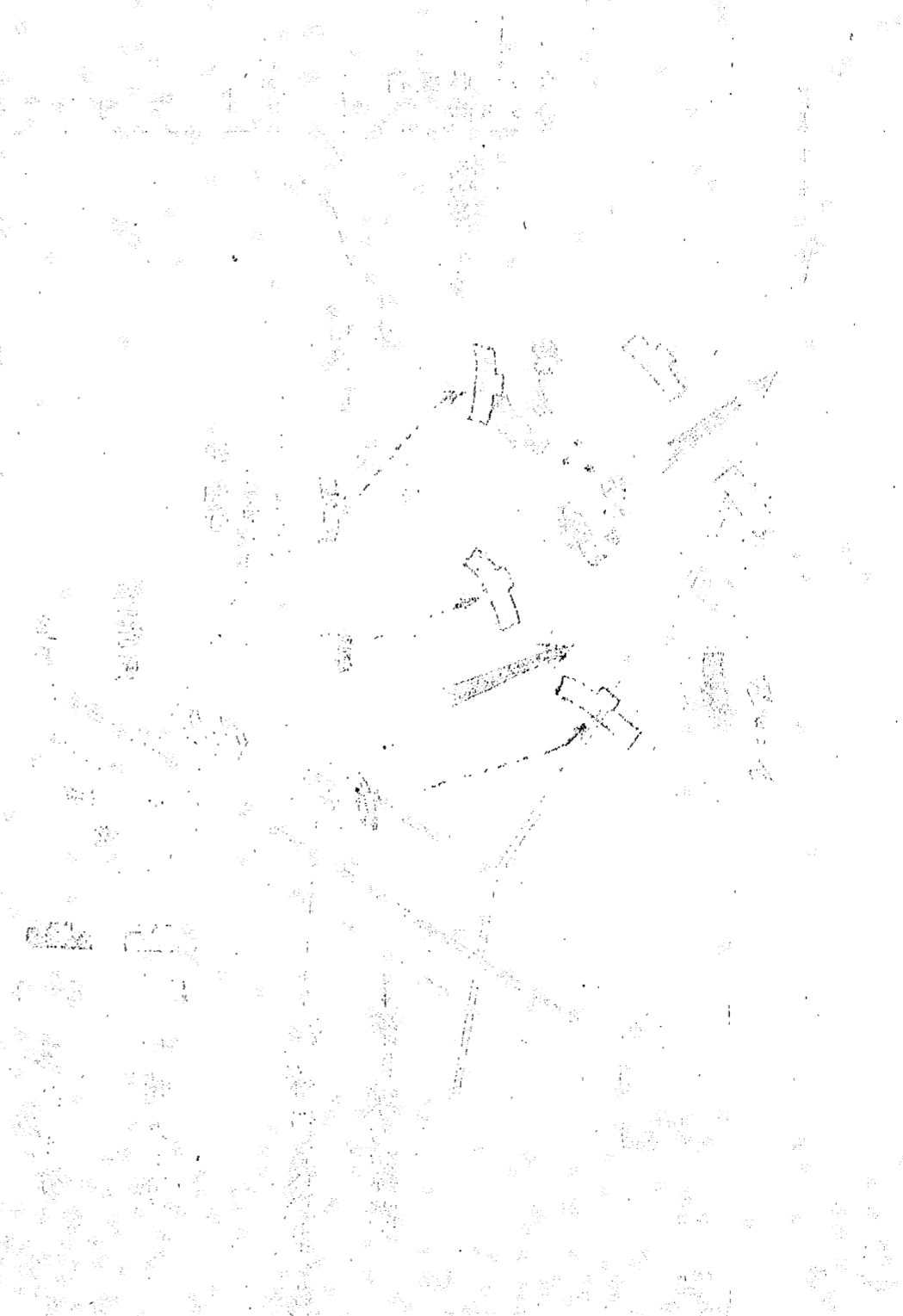
二月二十二日零時十分、蝦蟻屯站西方五〇米ノ蝦蟻屯莊方向ヨリ第四團匪(匪主王有爲)約一五〇名折柄ノ暗夜ヲ利用シ一擧ニ蝦蟻屯站ヲ襲撃交通網ヲ破壊スベク襲撃シ來リ直チニ之ニ應戦セシメ敵ハ我兵力ノ僅少ナルヲ察知セルモ、如ク兵力シ來リ彼我約一五〇米ノ距離ニ相對峙シ、交戦スルコト約ニ時間此ノ間ハ再三突撃態勢ヲトリタルモ我が火線ノ猛烈確實ニ目約ラ達シ得ズ二十時二十分頃南流岩村小隊主力ヨリ高橋上等兵以下七名(含輕機一)急援シ來リ側方ヨリノ急撃ニ遂ニ二十時五十分之ヲ西北方ニ遺走セシメタリ

我 損害ナシ
射耗彈 五四〇
彼 遺棄死体 三

9680

附圖第六

0380



其ノ

一ノ 一般狀況

第五 無線關係事項

(一) 各東進部隊ハ地域毎ノ掃蕩ヲ完了シツ、敵

ヲ山東半島東端地帯ニ圧迫シ二月十四日夕

各部隊主力ハ芝罘一箇頭一鳳台頂ノ線ニ進

出セリ

(二) 嶗山灣支隊ハ即墨一周曠以南ノ地區ヲ掃蕩

シ二月十四日夕青島ニ集結爾後ノ行動ヲ準

備シアリ

(三) 戰鬥經過別紙附圖第一ニ如シ

二 無線各隊ノ行動概要

(1) 行動発起ノ態勢ニ移行ノ爲ノ無線通信網更

改狀況別紙附圖第七乃至第一〇ノ如シ

三、通信

(2) 作戰前期ニ於ケル無線通信網概要別紙附圖

(3) 第一ノ如シ無線各隊ノ行動概要別紙附

圖第一三ノ如シ

(1) 夜間屢々混信アリタルモ各分隊ハ之ヲ克服

ニ努メ概ネ良好ナル通信ヲ實施シ得タリ

青島一秋山部隊戰鬥司令所間ニ於テ混信雜

音特ニ大ナル爲十日以降夜間周波數ニ一〇

〇KGヲ使用セシメタル結果爾後極メテ良好

ナル交信ヲ實施シ輻湊スル電報ノ疏通ニ遺

憾ナカラシメタリ

(2) 十二日夕〇リノ吹雪ハ青島市内ニ於テ積雪

約十糎ニ及ビ之ガ爲メ膠濟沿線岫山以東迄

ノ間ニ於テ無線通信網ノ維持ニ困難アリ

タリ

ニ

ノ

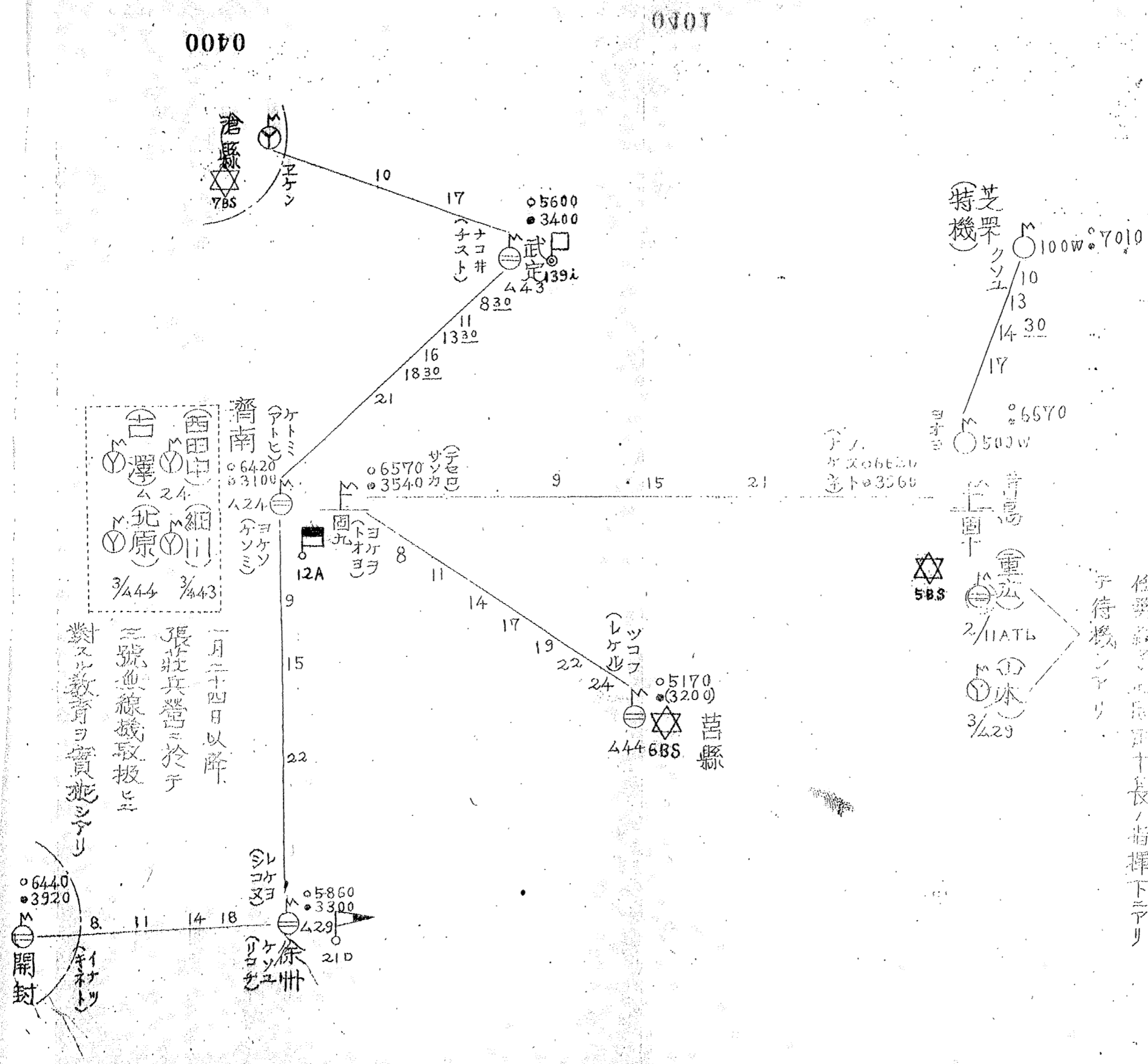
ノ

一青島市内ニ於ケル有線電線路ハ大破壊ヲ
 蒙レリ
 之ガ復旧ハ重要度ノ輕重ニ隨ヒ実施スベク
 担任中隊ヲシテ先ツ無線操縦ヲ練習作業
 ニ依リ復旧セシメ後方通信ハ總テ無線ノ
 ニ依ルコトセリ

無線通信網圖

一月二十日十二時現在

500ノ無線通信網圖局間隊ヲシテ
 任務ヲシテ無線通信局長ノ指揮下ニテ
 テ待機シテアリ



0401

0000

附圖第七

1381

1387

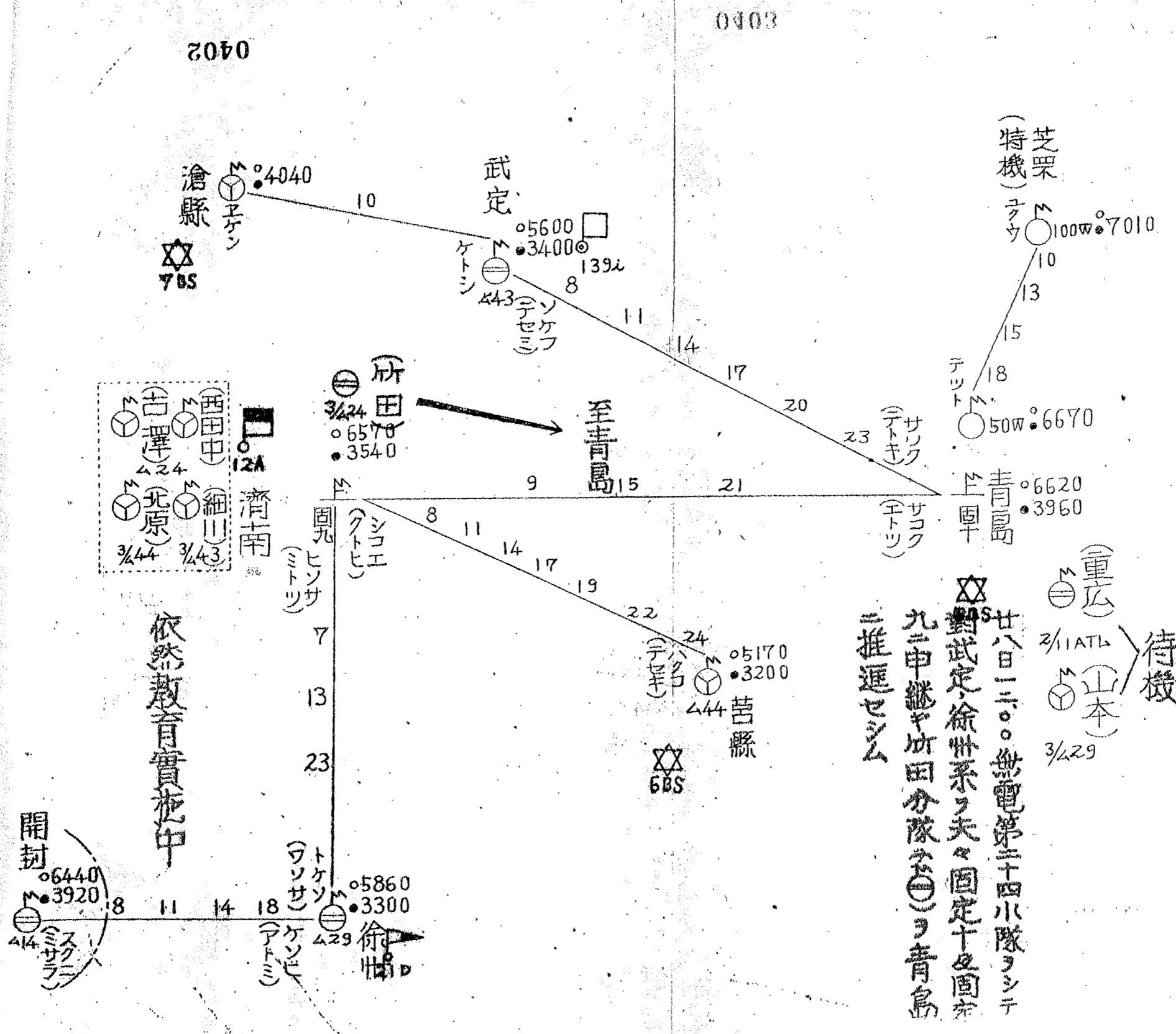
1381

1382

1382

1381

無線通信網圖（二月二十八日以降）



待機

推進セシム

廿八日ニ無線第三十四小隊ヲシテ
 武定徐州系ヲ夫々固定トシ同系
 九ニ申繼ヤ田分隊ヲ()ヲ青島
 ニ推進セシム

依然教育實施中

開封

0403

0403

附圖第八

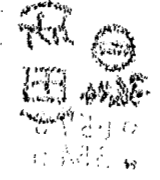
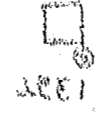
朝鮮國

朝鮮國



朝鮮國(1910年)の位置

朝鮮國(1910年)の位置



無線通信網圖(二月一日現在)

一月三十日十五。青島着
 固定十長ノ指揮下ニ入ラシメ
 二月一日。以降各対所ト
 ノニ構成セシム

特機 芝罘
 〇7010

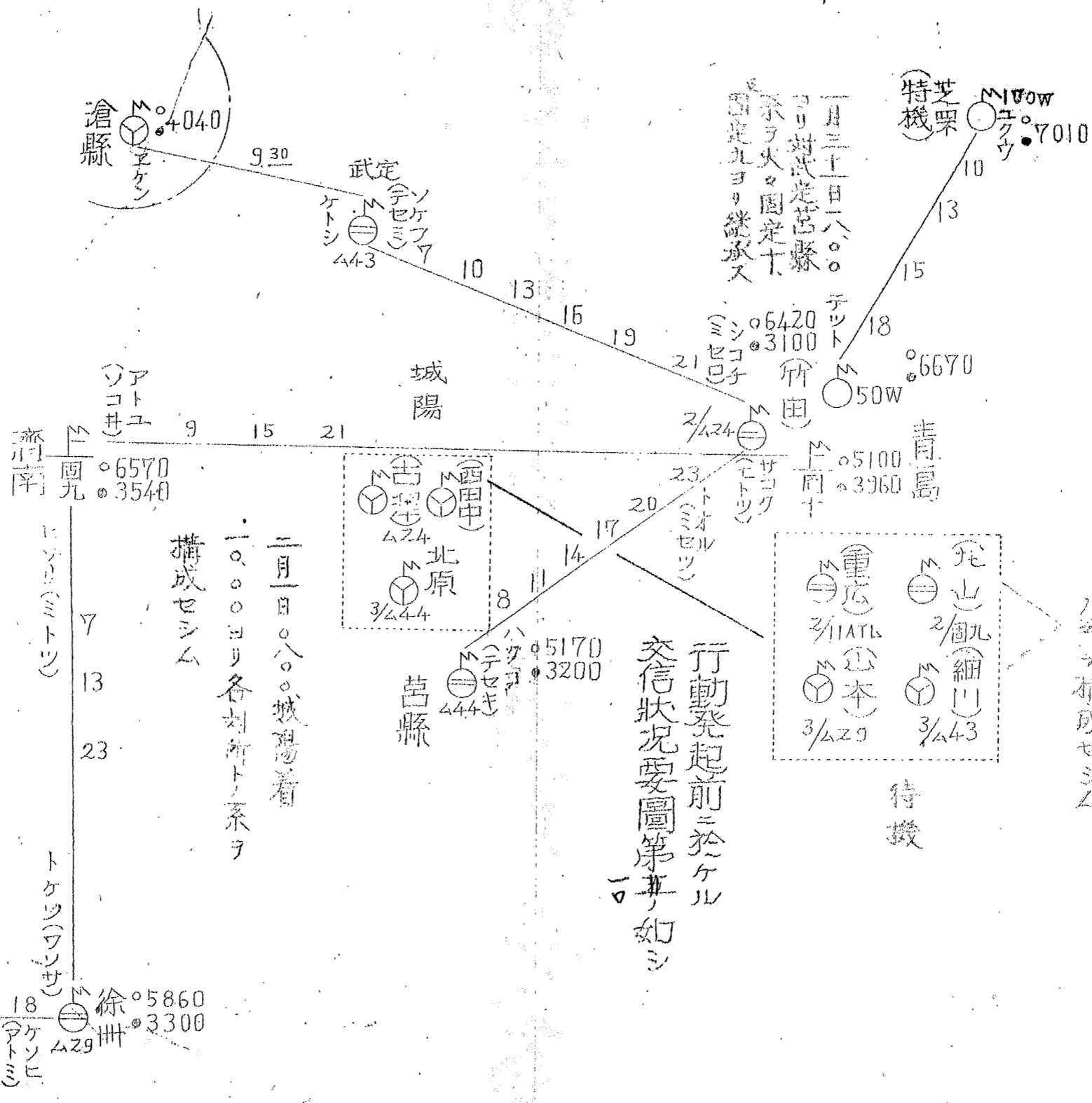
一月三十日八。〇
 ヲリ封定莒縣
 系ヲ火々固定ナ
 固定九ヨリ継承ス

0462

0404

備考

二月一日零時以降通信請元ノ一部ヲ変更ス
 (要圖第二第三参照)



行動発起前ニ於ケル
 交信状況要圖第其ノ如シ

二月一日。八。〇。城陽着
 一。〇。〇。ヨリ各対所トノ系ヲ
 構成セシム

待機

0405

附圖第九

0405

無見圖繪圖(自左圖)

終極的科學圖繪圖
行總終極的科學

各部隊集結時行動突起前ニ於ケル

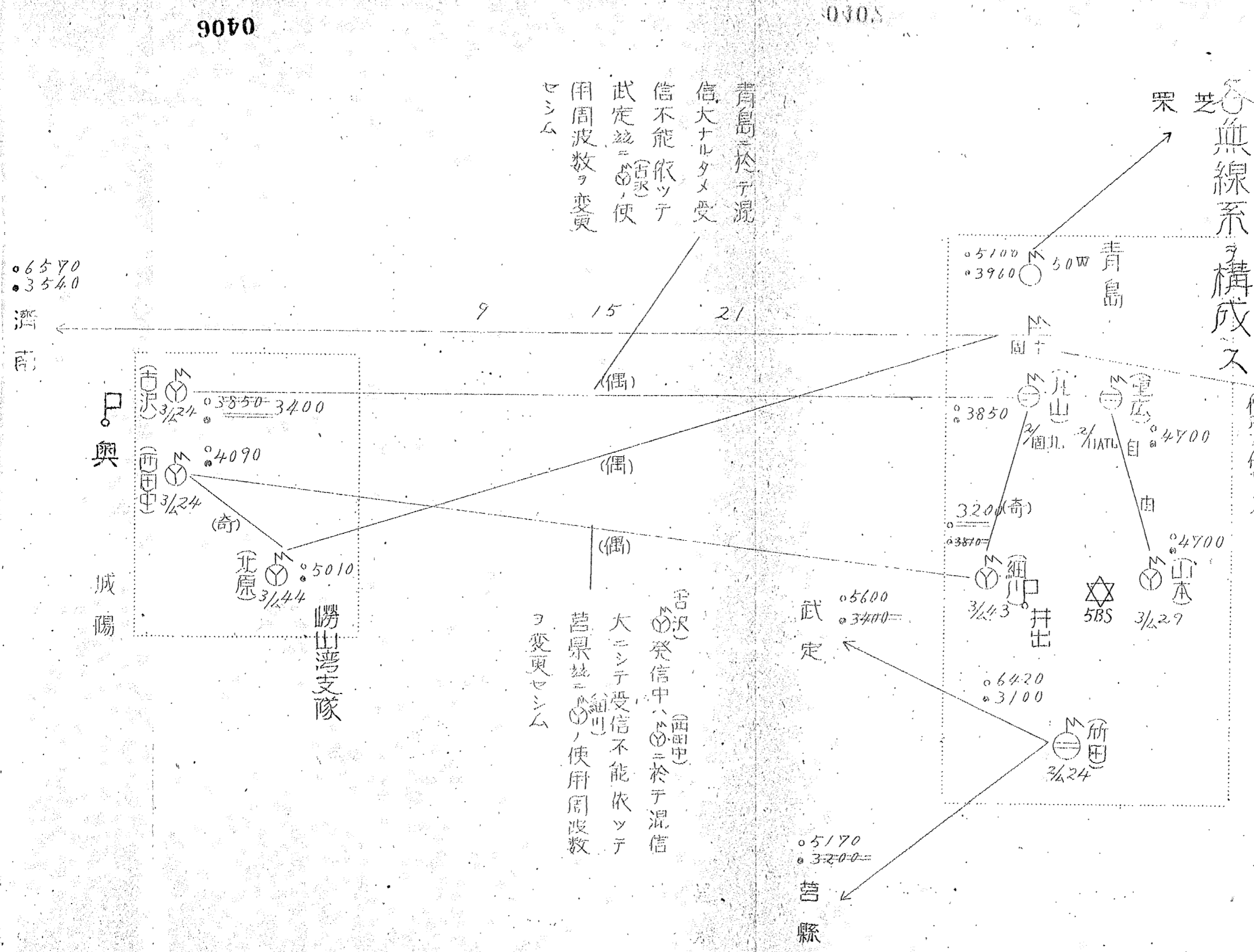
各無線系構成狀況

二月十日以降要圖ヲ如ク

各無線系ヲ構成ス

二月二日以降

各間ノ



青島ニ於テ混信大ナルヲ受
信不能依ッテ
武定ニシテ受信不能依ッテ
用周波数ヲ変更
ス

武定ニシテ受信不能依ッテ
大ニシテ受信不能依ッテ
莒縣ニシテ受信不能依ッテ
用周波数ヲ変更セシム

6570
3540

濟南

興

城陽

嶗山支隊

武定

莒縣

○。興

關山圖

附圖第一〇

其和系、關六、八

三ノノ、關六、七、八、九

關山圖

關山圖

關山圖

關山圖

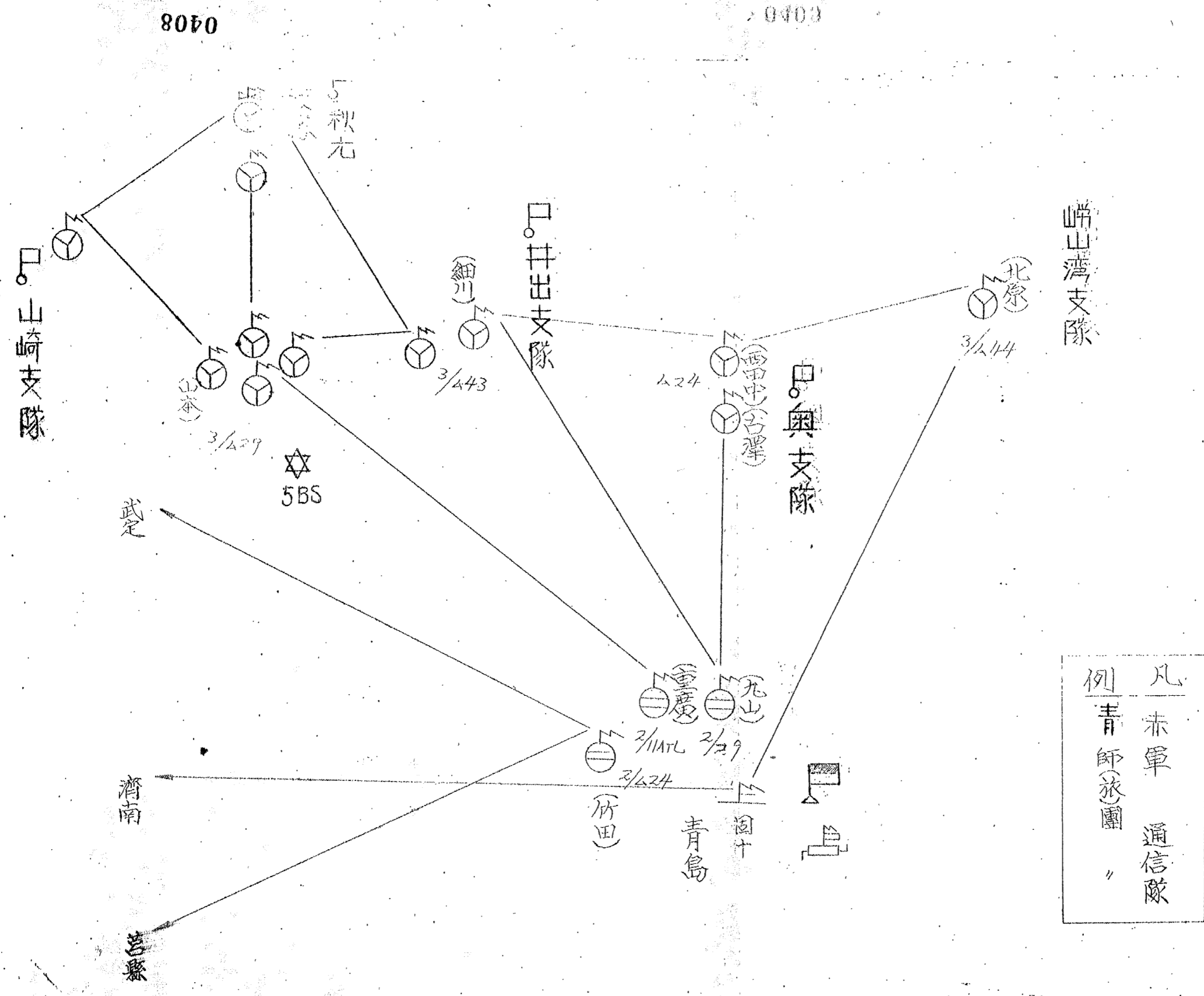
關山圖

關山圖

關山圖

關山圖

作戰前期ニ於テ
無線通信網概況



0409

0409

附圖第一

池田殿支額

口。興支額

口。日出支額

口。山崎支額

282

